



大阪早稲田倶楽部 NEWS



大阪早稲田倶楽部会長
校友会大阪府支部支部長
角 和夫

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様には良き年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。旧年中
は大阪早稲田倶楽部及び校友会大
阪府支部の運営、活動等に多大のご
協力とご理解を賜り、厚く御礼申し
上げます。

昨年は東日本大震災により、巨大
な自然の力を前にした人間のはか
なさを思い知らされました。その一
方、私たちに日本古来の思いやり
と優しさ、絆の温かさがあることを
改めて認識いたしました。政治、経
済、社会が閉塞感に包まれ、暗いト
ンネルを抜けるには容易でない情
勢です。ただ、混沌の時代に惑わさ
れて私たちの心までくじけてし
まっては明日を切りひらくことは
できません。迷走した政治を真正な
道に戻す大役を校友の野田総理が
担うことになりましたが、早稲田人
としての気概、進取の精神、高い志
で明るい未来を築いていただきました

いと願っています。大阪においても、
いっそうの活気が醸し出されるこ
とを祈念してやみません。

さて、校友会大阪府支部は活性化
に向け、大阪府内の稲門会のネット
ワーク化を進めます。校友会大阪府
支部の傘下にある大阪早稲田倶楽
部は会員660名を擁する大きな
稲門会ですが、ほかに堺・泉州地
区稲門懇話会、関西不動産稲門会、
大阪稲門グリークラブ、関西ホテル
稲門会など地域や業界などでの稲
門の組織があります。これらの稲門
会に広く呼びかけ、情報交換や交
流、懇親を深め、結びつきを強めた
いと考えております。また、200
9年に早稲田大学の係属校となり
ました早稲田摂陵中・高校とも連
携を深め、イベントや講演会を通し
て外部発信をし、社会貢献をしてい
きたい考えでもあります。

大阪早稲田倶楽部におきまして
は、各支部が活発な活動を展開し、
会員のみなさんとの親睦を深めて
おります。新しい仲間も増え、さら
に活気ある楽しい倶楽部になるこ
とを願っております。皆様のご協力
を得ていっそう充実した倶楽部、校
友会としていきたい所存です。ど
うぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様には本
年も健やかで幸多い年であります
よう祈念申し上げます、年頭のご挨拶と
させていただきます。



大阪早稲田倶楽部理事長
人見 亨

明けましておめでとうございま
す。平素は倶楽部の運営、活動にご
支障いただき、厚く御礼申し上げ
ます。

昨年は東日本大震災によって多
くの方々が犠牲になられたことに
深く哀悼の意を表します。また、震
災だけでなく原発事故で被災され
た方々に心よりお見舞い申し上げ
るとともに、被災地の一日も早い
復興を祈念しております。

昨年11月、校友会大阪府支部総
会に来賓として出席いただいた鎌
田薫総長は、早稲田大学の特色の
一つに多様性を挙げておられま
す。自由と独創を尊重する校風の
中で、多彩な才能を持つ学生が切
磋琢磨して互いに高め合い、認め
合い、個性豊かな幅広い人格を形
成してきました。

とかくステレオタイプになりが
ちな堅苦しい偏った考えを排し、
時代と環境に即応して伸び伸びと

多様性を発揮し、力強く羽ばたこ
うと歩み続けてきたのが稲門の良
さではないでしょうか。私はこの
ことを誇りに思っていますし、今
後もこの稲門の良さをアピールし
ていきたいと思っています。

政治の混迷や経済の停滞、さら
にエネルギーや福祉ほか難題を抱
える今こそ、大きな視野と確固た
る指針で切り開いて行く人材が求
められており、稲門の出番だと思
います。

大阪においても、それぞれの分
野でみなさんが活躍されておりま
す。これからも存在感のある早稲
田パワーで活力ある街にと年頭に
あたり、願っております。

さて、倶楽部の新たな部会とし
て昨年発足しました関西演劇文化
研究会も校友会支部とジョイント
して活発な活動を続けています。

また、写真部会、歌声サロンと新
たな部会ができて倶楽部はいっそ
う活気を帯びています。若い校友
の人も相次いでいます。年輩の
世代も若い世代とともに分け隔て
なく、親睦を深めることができます
のが倶楽部の良さでもあります。
今年も楽しく充実したイベントや
懇親会などでみなさんと一緒にし
たいと思います。

どうぞ、気軽にどしどしご参加
ください。お待ちしております。

おしらせ

北原仁巳展

～明治・大正・昭和の西洋建築と近代土木遺産～

■会期
2月21日(火)～26日(日)
10:00～18:00
(最終日は17:00まで)
■会場
リーガロイヤルギャラリー
(中之島・
リーガロイヤルホテル1階)



ゴルフ大会

- 3月3日(土) 定例ゴルフ大会(交野カントリー倶楽部)
- 5月12日(土) 早慶ゴルフコンペ(交野カントリー倶楽部)
- 9月8日(土) 第3回校友会大阪府支部ゴルフ大会(池田カントリー倶楽部)

食べ歩き会スケジュール

- 3月31日(土) 明石城の桜と明石「人丸花壇」 蛸料理
- 6月16日(土) 道頓堀「角力茶屋」 ちゃんこ鍋
- 10月6日(土) 曾爾高原のススキ 奥香落温泉「奥香落山荘」
- 12月1日(土) 談山神社の紅葉 多武峰観光ホテル

11年度校友会総会開催～摂陵高OGが吹奏楽を披露



来場者を魅了した吹奏楽演奏

校友会大阪府支部の2011年度定期総会が11月13日、大阪新阪急ホテルで開催された。大学本部から鎌田薫総長、校友会本部の福田秋秀代表幹事を来賓に迎え、140人の校友が出席した。

同校の吹奏楽コースの生徒から成るウインドバンドは全日本コンテストの金賞を受賞し、ヨーロッパ公演も重ねている全国屈指のマーチングバンド。同校が2009年より早稲田大学の係属校となったのを機に、OGでつくる「みつばち会吹奏楽団」を初めて総会に招いた。この日は24人が出演し、応援歌「紺碧の



「世界に開かれた早稲田を」と講演する鎌田総長

空」や「上を向いて歩こう」などを華麗に演奏し、喝采を浴びた。

続いて、鎌田総長が「早稲田大学の明日を考える」のテーマで、島善高教授は「大隈重信と近代日本」と題してそれぞれ講演した。総会では、2010年度決算や11年度予算などを審議し、東日本大震災で被災した学生を支援する大学本部の「WASEDAサポーターズ倶楽部」に支部として百万円を寄付することを決めた。

また、大阪府内で活動する稲門会のネットワーク化を進めることや地域社会の発展に寄与する事項を推進すること、早稲田摂陵中・高校との連携を深めることなどの11年度活動計画を承認した。

倶楽部・校友会の合同新年会華やかに

大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部の合同新年会が1月14日、上本町のシェラトン都ホテル大阪で開かれた。この日は近くの国立文楽劇場で文楽観賞の集いがあり、公演を楽しんだ校友ら99人が出席した。冒頭、挨拶に立った角和夫倶楽部会長は「昨年は東日本大震災をはじめ日本の経済

マーケットの信頼を傷つけるようなこともあり、戦後66年の中でも最悪の年だった。今年はこの悪い流れを断ち切る断、さらに熟慮断行、決断実行の断の年としたい」と抱負を述べた。続いて、吉川一三・校友会副支部長は内外の経済情勢を振り返りながら「今年こそ充実した年に」と述べ、乾杯

の杯を掲げた。若手や女性の校友、倶楽部会員の姿も多く見られ、歓談の輪が華やかに各テーブルで広がった。

人見亨・倶楽部理事長の中締め挨拶に続いて、和田浩孝・倶楽部理事のリードで校歌を高らかに斉唱した。同じホテルのバーに移っての2次会にも多くの人が参加し、楽しい会話が続いた。

魅力たっぷり 文楽初春公演

初春の文楽鑑賞の集いが1月14日、日本橋の国立文楽劇場で行われた。校友会大阪府支部の主催で、第一部の人形遣い・大夫解説には60人、第二部の本公演には129人の校友らが参加した。

校友会創立125周年を記念して昨年1月に開催した文楽観劇会が好評だったことから、倶楽部の関西演劇文化研究会とタイアップして再び企画した。

一輔さんが人形のからくりや巧みな表情を出すことなどを実際の人形を動かしながらわかりやすく解説。また、豊竹睦夫さんは迫力ある語りを披露しながら大夫の魅力について熱

っぽく話し、参加者の喝采を浴びた。

本公演は、「義経千本桜」と「壺坂観音壺験記」。ほぼ満席となった劇場の観客は人形と大夫の語り、三味線の織り成す伝統芸に酔いしれていた。

第一部では、吉田



人形の仕組みについて解説する一輔さん(左)

てくてくハイキング

時枝奉之(昭45年院・理工研)

11
〜
12月

紅葉の始まりから落ち葉のカーペットまで



予想以上に大きな町石

秋のハイキングの楽しみは錦秋の紅葉です。11〜12月に実施した3回をダイジェストでご報告します。

①高野山町石道(ちよういしみち)ハイイク
 《11月5日(土)曇り後雨、参加者11名》

昔の人は高野山に参詣するのに、九度山(くどやま)から20^分を歩いて登り、この区間に1町(約109・1m)毎に距離を示す180本の町石(五輪卒塔婆)が建てられて

います。我々は最後の6^分を歩くことにしました。町石は予想以上に大きく高さは約3mもあります。参詣道は無駄な登り降りはずいぶん多いため、最後まで楽しんでほしいです。最後は平野に参詣して立派な庭園の秋の雰囲気を楽しみました。

③六甲山シエール道
 落ち葉カーペットハイイク《12月10日(土)晴れ、参加者10名》

初冬になると紅葉は終わり、次の楽しみは広葉樹の落ち葉が

日(土)晴れ、参加者12名》

何とか楓も色づいて来たので、宇治橋から右岸を上流の天ヶ瀬ダムに向かって歩きながら歩きました。天ヶ瀬ダムは関西電力が敷地を開放し展望台も作ってあるので、好天の中で昼食を摂りながら湖と緑と赤や黄色の紅葉を眺めて、気持ちの良い秋の日を堪能しました。宇治市が作った茶室「対鳳庵」では立礼席で薄茶に初挑戦。茶道をされている藤川さんのご指導よろしきを得て楽しい体験をしました。美味しかったです。最後に平等院に寄って立派な庭園の秋の雰囲気を楽しみました。



落ち葉のカーペットが敷き詰められた登山道



敷き詰められた上を、カサカサと鳴る音を聞きながら歩く、初冬の時期しか味わえない貴重な「落ち葉カーペットハイイク」です。沢沿いのコースなので落ち葉と渡渉が交互に現れて、面白い組み合わせでした。

平成23年のてくてくハイキングは10回開催して、参加者合計139名、平均14名でした。多数のご参加有難うございます。平成24年もよろしくお願いたします。

新しい部会として仲間入りした写真部の第1回撮影会を11月26日、晩秋の京都・嵐山で開きました。

撮影会は9月に大阪城公園で予定していましたが、台風接近により、中止し、この日が仕切り直し。

11月末なら色づいているだろうと思っ

渡月橋から眺める山々も「燃える」ような色づきとは程遠いものでした。

それでも参加した8人は、人混みの天龍寺や竹の小径などで思い思いにカメラを構えていました。

幹事の岡本周三さん(昭57年社学)が、持参のノートパソコンにカメラのデータカードを差し込んで映し出し、「モミジか

ら透ける日の光が素晴らしい」「茅葺き屋根と紅葉のアンクルが絶妙」などと講評。みなさん、素人写真だからと謙遜されていましたが、出来栄はなかなかのものでした。

次回は2月25日(土)、大阪城公園の梅林で行います。梅林散策だけでもどうぞご参加ください。

小林一則(昭55年政経)

写真部

京の紅葉を撮る

写真部撮影会

皆さんも気軽に参加ください!!

柚子の里 水尾の地鶏の水炊き



平成23年最後の食べ歩き会は生憎の雨となりました。

11月19日(土)11時京都駅33番ホームに男性13名、女性13名、計26名集合。17分発の嵯峨野線普通電車乗車。嵯峨嵐山駅の次の駅保津峡駅下車。お店差し回しの車と貸切コミュニティバスに分乗して水尾川沿いの山道を上流に向って走る。

また明智光秀が本能寺攻めの際、愛宕神社参拝の後、当地を経て京都に攻め上ったことでも知られています。本日お世話になるお店「やまじゅう松尾」には12時に到着。食事前に名物の柚子風呂で柚子の香りを満喫し、さっぱりしたところで12時45分、野中委員長の挨拶につづき、松本先輩の乾杯の発声で会食の開始。

お鍋には白菜、椎茸、えのき、春菊、九条葱など新鮮な野菜に湯葉、お餅に地元豆腐、メインの余分な脂を落としたコラーゲンたっぷりの地鶏が煮えたぎり、箸をつけるのを待っている。もみじおろしに柚子たっぷり自家製ポン酢で食べる味はこの上なし。



寄稿 坐禅会の報告とお知らせ

11月3日、神戸市北区大沢町の福厳寺にて、大阪早稲田倶楽部、宝塚稲門会合同で坐禅会が開催されました。

計11名が参加、まずは坐禅の手ほどきがあり、そのあと約20分の坐禅を行いました。いつもながら短いながらも貴重な「無為」の時間を過ごし、つぎはおまちかね岩城さんの精進料理を堪能しながら、お酒とおしやべりを楽しみました。楽しいひとときでした。

